

大問 [三] 国語基礎力の応答分析, 考察, 指導上の留意点

問一

手紙文(依頼状)の書き方について出題した。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問一 (1)	正答	エ(拝啓)	92	81	82	255	85.0
	誤答	イ(前略)	7	17	13	37	12.3
		ウ(拝復)	1	2	2	5	1.7
		オ(こんにちは)			2	2	0.7
		ア(草々)			1	1	0.3

結語に合わせて適切な頭語を選択する問題である。正答率は85.0%で、高位の<a b c型>を示している。事後調査においても、ほとんどの生徒が中学校の学習で職場体験の礼状や恩師への手紙文を書いた経験があるという回答結果が出ている。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問一 (2)	正答	オ(余寒)	66	67	52	185	61.7
	誤答	ウ(向寒)	21	14	18	53	17.7
		エ(小春)	11	14	10	35	11.7
		ア(初冬)	1	4	12	17	5.7
		イ(陽春)	1	1	8	10	3.3

季節にふさわしい時候の挨拶を選択する問題である。正答率は61.7%で、<a b - c型>を示している。正答の「余寒」になじみが薄かったと考えられる。誤答としてウ「向寒」エ「小春」が比較的多かったのは、生活の中で季節の移り変わりや暦を実感する機会が減り、語が示す漠然とした寒暖のイメージから解答したためであろう。事後調査においても「残暑」「小春」などが具体的に何月に用いられるのか理解していない生徒が多く見られ、季節に関する言葉の知識不足が感じられる。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問一 (3)	正答	<input checked="" type="checkbox"/> 意 <input checked="" type="checkbox"/> 夫	73	37	25	135	45.0
	誤答	<input type="checkbox"/> 意 <input type="checkbox"/> 夫(「創」「工」共に間違い)	11	24	29	64	21.3
		<input type="checkbox"/> 意 <input checked="" type="checkbox"/> 夫(「創」の間違い)	1	10	5	16	5.3
		<input checked="" type="checkbox"/> 意 <input type="checkbox"/> 夫(「工」の間違い)	2		1	3	1.0
		(無 答)	13	29	40	82	27.3

四字熟語の知識を問う問題である。正答率は45.0%で、顕著な<a - b c型>を示しており、b c群が特に四字熟語を苦手とするという結果となった。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問一 (4)	正答	イ(折り入って)	81	77	56	214	71.3
	誤答	オ(恐れ入って)	13	16	23	52	17.3
		ア(立ち入って)	4	4	15	23	7.7
		カ(押し入って)	2	3	6	11	3.7
		ウ(感じ入って)					0.0
		エ(気に入って)					0.0

依頼の際に用いる定型表現を選択する問題である。正答率は71.3%で、<a b - c型>を示している。高校生の生活では使用頻度の低い表現と考えられるが、事後調査の回答では「折り入って」を「使

ったことはないが意味は知っている」生徒が過半数に上っていた。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問一 (5)	正答	ア (職場体験の成果について～ぜひ指導してほしい)	89	80	67	236	78.7
	誤答	イ (職場体験でお世話になった～お礼が言いたい)	8	11	23	42	14.0
		オ (職場体験報告会の詳しい日時と場所～伝えたい)	3	9	4	16	5.3
		エ (職場体験でお世話～季節のあいさつを伝えたい)			6	6	2.0
		ウ (職場体験で面倒をかけた～おわびをしたい)					0.0

手紙文の趣旨を選択する問題である。正答率は78.7%で、< a b - c 型 >を示しており、a b 群の生徒には平易な問題と考えられる。手紙を丁寧に読み取り、単なる礼状としてでなく、指導を依頼する旨の手紙として理解することができれば正答に至る。

問二

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問二 (1)	正答	イ (はたして)	97	96	93	286	95.3
	誤答	ア (たぶん)	3	3	5	11	3.7
		ウ (まさか)		1	1	2	0.7
		オ (どうか)			1	1	0.3
		エ (むしろ)					0.0

呼応の関係が適切な副詞を選ぶ問題である。正答はイ「長年積み重ねた彼女の努力は (はたして) 実を結ぶだろうか」であり、正答率は95.3%で、高位の< a b c >型を示している。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問二 (2)	正答	オ (かえって)	100	100	99	299	99.7
	誤答	イ (とうとう)			1	1	0.3
		ア (ようやく)					0.0
		ウ (はたして)					0.0
		エ (きっと)					0.0

文意に合った適切な副詞を選ぶ問題である。正答はオ「近道だと思ったのに (かえって) 時間がかかった」であり、正答率は99.7%で、高位の< a b c >型を示している。どの群も副詞の学習はよくできている。

問三

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問三	正答	ア (信じられないような)	54	30	24	108	36.0
	誤答	イ (信じられない/ような)	42	50	53	145	48.3
		オ (信じ/られない/ような)	4	14	17	35	11.7
		ウ (信じられ/ないような)		4	2	6	2.0
		エ (信じ/られないような)		2	4	6	2.0

正しい文節の区切り方を問う問題である。正答率は36.0%で、低位の< a - b c >型を示している。「信じられないような」という文節の中には付属語の助動詞が三つあるが、特に「ような」が付属語だと判別できていない。事後調査において、付属語が助詞と助動詞だけであると理解できている生徒は極めて少なかった。誤答イを選択した生徒は、文節区切りをする上で、感覚に頼った区切り方をしているのではないかと考えられる。「一文節一自立語」という基礎知識を押さえておきたい。

問四

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問四	正答	エ (名誉ある授賞式の晴れがましい場に臨む)	64	67	57	188	62.7
	誤答	イ (すべて私のおかげだと晴れがましく言う)	22	24	28	74	24.7
		ア (宿題をすべて終えたら晴れがましかりう)	13	7	9	29	9.7
		ウ (明日の天気はきっと朝から晴れがましい)	1	1	6	8	2.7
		オ (晴れがましければカーテンを閉めようか)		1		1	0.3

「晴れがましい」という語の正しい用法を選ぶ問題であり、正解はエで、「表立っていて華やかである」という意味である。正答率は62.7%で、<a b c型> (a b逆転)を示している。a b c群の間に差があまりなかったのは、字面が簡単で親しみやすい言葉に見えて、実は慣用的な意味はつかみづらいためであろう。言葉の表面的な字義にとらわれない正確な意味を覚えさせたい。

問五

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問五 (1)	正答	反 映	78	60	34	172	57.3
	誤答	繁 栄	16	20	19	55	18.3
		□ 栄 (□の部分の類字間違い)	4	9	7	20	6.7
		反 □ (□の部分の類字間違い)		2	8	10	3.3
		(その他)	1	4	10	15	5.0
		(無 答)	1	5	22	28	9.3

「はんえい (反映)」を漢字に改める問題である。正答率は57.3%であり、<a - b - c型>を示している。同音異義語である「繁栄」との間違いが多かった。文意に合った漢字を選択する力を身に付けさせたい。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問五 (2)	正答	緩 (む)	82	50	37	169	56.3
	誤答	糸□ (旁の部分の間違い)	2	12	11	25	8.3
		援	3	1	7	11	3.7
		暖	2	4	1	7	2.3
		(その他)	3	10	10	23	11.3
		(無 答)	8	23	34	65	21.7

「ゆる (緩) む」を漢字に改める問題である。正答率は56.3%であり、<a - b c型>を示している。「緩」という字形の偏か旁のどちらかは書けている誤答が目についた。これは学習した経験はあるが、身に付いていないということであろう。反復練習等により、正確に覚えさせたい。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問五 (3)	正答	改 善	95	69	57	221	73.7
	誤答	善の字形間違い	2	8	8	18	6.0
		改 □ (□の部分の類字間違い)		7	6	13	4.3
		□ 善 (□の部分の類字間違い)	2	6	2	10	3.3
		(その他)	1	3	12	16	5.3
		(無 答)		7	15	22	7.3

「かいぜん (改善)」を漢字に改める問題である。正答率は73.7%であり、<a - b c型>を示している。誤答の傾向としては「善」の字が正しく書けていない解答が目立った。過去に平成2年度 (正

答率65.5%)と平成12年度(同65.7%)にも出題されているが、平成12年度ではc群の正答率が33.7%であり、今回は大幅に改善された。

< 指導上の留意点 >

実態及び問題点	
現代日本では、生活環境の変化などによって季節感がしだいに薄れつつあり、日本古来からの季節に関する言葉が、生徒にとって実感の乏しいものとなっており、特に手紙文における時候の挨拶などは、単なる形式的な儀礼となっている。そういった季節感の乏しさや新旧の暦のずれが、古典学習などにおける読解の妨げにもなっている。	
指導における改善の具体策	
旧暦を基準にした「日本の四季カレンダー」を作ることによって、旧暦と新暦との違いや日本古来からある季節に関する言葉などを認識させ、日本独特の季節感を考え、学習させたい。	
学習活動 (授業2時間程度+各自調べ学習)	
① クラスを春・夏・秋・冬の4グループに分け、それぞれの季節(3か月分)を担当する。その際、なるべく自分の誕生月(新暦)を担当させるとよい。	
② 「旧暦での月の異名」「旧暦・新暦対照表」「二十四節気」「年中行事」「季節の言葉」「季語」「季節の花」などといった季節に関する項目の中から興味のあるものを数項目選び、インターネット、図書館、国語便覧等を使い、その意味や時期を各グループ内で分担して調べる。「月の見え方と名称」「十干十二支」「学校行事」「生徒の誕生日」等を項目に入れてもよい。	
③ 調べた内容をグループ内で持ち寄ってまとめる。さらにグループごとに出来上がったものをクラスでまとめ、一つのカレンダーにして教室で使用する。	

【作成例】

旧暦で

★平成25(2013)年 くらげカレンダー★

春 睦 月		【月の異名のいわれ】		正月に家族が集まって、睦まじく楽しい日を送るということから言われ始めたという説がある。	
旧暦	新暦	二十四節気	行事等	調べたことや説明・その他	
1月1日	2月10日 日		元日	建国記念日	
1月2日	2月11日 月			春の季語 ・陽炎 花曇 螢気楼 残雪 雪間 雪解 流水 試験 仔馬 猫の恋 仔猫 蛙 百千鳥 薔薇の芽 沈丁花 など	テスト発表
1月3日	2月12日 火				
1月4日	2月13日 水				
1月5日	2月14日 木				
1月6日	2月15日 金				
1月7日	2月16日 土		七草がゆ		
1月8日	2月17日 日				早苗さん誕生日
1月9日	2月18日 月	雨水		空からの雪が雨に変わり、地上の雪が溶けて水になり始める頃	
1月10日	2月19日 火		鏡開き		
1月11日	2月20日 水			春の言葉 ・薄氷(うすらい) 冬が過ぎて、水面をかううじて覆っている薄い氷のこと。その薄さで 春の訪れを知る。 ・東風(こち) 春に東あるいは北東から吹いてくる風のこと。 ・春告鳥 春が来たことを知らせる鳥のこと。うぐいすの別名。	学年末テスト
1月12日	2月21日 木				
1月13日	2月22日 金				
1月14日	2月23日 土				
1月15日	2月24日 日		小正月		
1月16日	2月25日 月		藪入り		浩史くん誕生日
1月17日	2月26日 火				
1月18日	2月27日 水				高校入試
1月19日	2月28日 木				
1月20日	3月1日 金				卒業式
1月21日	3月2日 土				
1月22日	3月3日 日				
1月23日	3月4日 月			和巳くん誕生日	
1月24日	3月5日 火	啓蟄		気温が上がり、冬眠をしていた虫が大地の穴から出てくる頃	